

リベラル西条

市内道路の渋滞対策は？

市内の道路については、産業振興の観点から、市内外への物流を含めたアクセス性や通勤時の利便性向上が重要であるとともに、児童・生徒の通学時の安全を確保するために、渋滞解消や安全対策に取り組む必要があると考えるが、今後の方針について問う。



渋滞する産業道路

また、政府は国土強靱化を標榜し、平成24年度補正予算並びに平成25年度当初予算で大規模な予算計上を行った。本市においても、南海トラフ地震に備えた防災や減災対策は、災害に強いまちづくりを行う上で、国や県との連携を図りながら今以上に取り組む必要があると考える。市が管理するトンネルや道路の標識等の附属物、構造物の点検・修繕への取組について現状と方向性を問う。

答

平成25年1月25日に、愛媛県渋滞対策協議会より県内の主要渋滞箇所が公表されたが、本市においては、国道11号及び産業道路を中心に18か所の主要渋滞箇所が特定されている。渋滞対策としては、これまでも交通量の分散化を促すバイパス道路の整備や交差点改良に取り組んできたところであるが、今後、市としても国・県・市からなるワーキンググループにおいて、渋滞対策の検討を進める予定である。

点検・修繕の取組については、平成22年3月に、西条市橋りょう長寿命化修繕計画を策定し、橋りょうについては順次点検や

修繕工事を行ってきた。今回、国土強靱化基本法により、防災・安全交付金が平成25年2月26日に内示されたことを受け、この交付金を活用して、トンネルや道路構造物、道路附属物の点検及び路面性状調査を実施する予定である。

西条市民クラブ

合併10周年を間近に控えた市の現状と今後の展開は？

問

本市は、合併10周年を間近に控え、節目の時期にきている。そのような中、市長は昨年11月の就任後、初めての新年度予算を編成するなど、今後、新たな市政を本格的に進めて行こうとしている。施政方針の中には「時代とともに改める」、「新しい時代にかさわしい西条市」といった言葉が見受けられたが、これまでの市の取組をどのように評価し、新しい市政をどう進めて行こうと考えているのか。

また、行政サービスの向上を図るため、公民館体制を強化する方針が打ち出されているが、体制の内容と実施時期について問う。更に、公民館体制の強化

については、公民館施設の改修や建て替えなど、ハード面の整備も必要であり、市民からは、駐車場の拡大やトイレの整備などを要望する声も上がっている。このような要望に因應するため、市はどのような取組を考えているのか。

答

前市政は、さまざまな分野で、数多くの宝を残してくれた。これらを引き継ぎながら更に磨きをかけ、市政を進めていきたいと考えている。また、国では政権が交代し、政策



大町公民館

の大胆な転換が図られようとしている中、合併10周年を迎える本市の更なる飛躍、発展を目指していくため、市民目線に立ち、事業を総点検し、時代に即した見直しを行っていきたい。

公民館は、地域住民の積極的な参画を得て、自主性や主体性を生かした運営が望まれており、地域の課題やニーズを的確に捉える必要があるため、平成25年度から施設の管理体制や事業の状況を踏まえながら、地域に居住するかたの中から非常勤の館長を任命したいと考えている。また、常勤主事を2名配置し、計3名の体制で、公民館の機能強化を図っていきたい。公民館の敷地拡大については、各事業の出席者から駐車場を拡大してほしいとの要望も聞いており、利用状況や敷地の状況をおり、利用状況や敷地の状況をおり、整備が必要な公民館から計画的に実施することを検討していきたいと考えている。また、公民館施設は、合併後、大町公民館など5館の建て替えを行なっているが、今後も建築年数や老朽化の状況などを見極めながら、トイレの修繕などを含め、計画的に整備を行っていきたい。